

土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 法面工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 法面工）の試行要領【受注者希望型】</p> <p>（趣旨）</p> <p>第 1 条 この要領は、土木部が発注する工事において、「I C T 活用工事（I C T 法面工）【受注者希望型】」（以下、「I C T 法面工」という。）を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>（I C T 活用工事）</p> <p>第 2 条 I C T 法面工とは、以下に示す施工プロセス（①～⑥）において I C T を活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3 次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1）～3）の方法により 3 次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での 3 次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1）空中写真測量（無人航空機）による起工測量</p> <p>2）地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>3）その他の 3 次元計測技術による</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3 次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3 次元出来形管理を行うための 3 次元設計データを作成する。</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>対象外。</p> <p>④ 3 次元出来形管理資料等の作成</p> <p>工事完成物について、I C T を活用して施工管理を実施する。なお、出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。厚さ管理は本要領の対象外とする。</p>	<p>土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 法面工）の試行要領【受注者希望型】</p> <p>（趣旨）</p> <p>第 1 条 この要領は、土木部が発注する工事において、「I C T 活用工事（I C T 法面工）【受注者希望型】」（以下、「I C T 法面工」という。）を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>（I C T 活用工事）</p> <p>第 2 条 I C T 法面工とは、以下に示す施工プロセス（①～⑤）において I C T を活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3 次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1）～7）の方法により 3 次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での 3 次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1）空中写真測量（無人航空機）による起工測量</p> <p>2）地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>3）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>4）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>5）T S 等光波方式を用いた起工測量</p> <p>6）T S（ノンプリズム方式）を用いた起工測量</p> <p>7）R T K－G N S S を用いた起工測量</p> <p>② 3 次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3 次元出来形管理を行うための 3 次元設計データを作成する。</p> <p>なお、発注者が貸与する 3 次元データを活用する場合も I C T 活用工事とする。</p> <p>また、3 次元設計データ作成は I C T 土工等と合わせて行うが、I C T 法面工の施工管理においては、3 次元設計データ（TIN）形式での作成は必須としない。</p> <p>現地合わせによる施工を行う法枠工・植生工・吹付工においては、出来形計測時に用いる設計値は従来どおりとし、3 次元設計データの作成は必須としない。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>対象外。</p> <p>④ 3 次元出来形管理等の施工管理</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事（ I C T 法面工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>⇐ 出来形管理➤</p> <p>下記 1）～5）のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</p> <p>1）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理技術</p> <p>2）地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術</p> <p>3）T S 等光波方式を用いた出来形管理技術</p> <p>4）T S（ノンプリ）を用いた出来形管理技術</p> <p>5）その他の 3 次元計測技術による出来形管理技術</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>⑤</p> <p>出来形確認及び検査</p> <p>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、</p> <p>3 次元</p> <p>（追加）</p> <p>設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</p> <p>④納品</p> <p>①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>2 I C T 法面工の実施にあたり、施工プロセス（①～④）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定する。</p> <p>なお、プロセスの選択は、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>（対象とする工事）</p> <p>第 3 条 I C T 法面工は、下記工種を含む発注工事を対象とする。</p>	<p>法面工の施工管理において、下記に示す方法により出来形管理を実施する。</p> <p>（1）出来形管理</p> <p>下記 1）～7）の技術から選択（複数以上可）して、出来形計測を行うものとする。</p> <p>1）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理</p> <p>2）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3）T S 等光波方式を用いた出来形管理</p> <p>4）T S（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理</p> <p>5）R T K－G N S Sを用いた出来形管理</p> <p>6）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>7）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>なお、計測装置位置と計測対象箇所との離隔・位置関係により 1）～8）の I C T を用いた計測においては、精度確保が困難となる箇所や繰り返し計測を行うことが必要となる箇所等も想定される。当該箇所においては、監督職員と協議の上、施工段階における出来形計測結果が判る写真・画像データ等と併用するなど、他の計測技術による出来形管理を行っても良いものとする。</p> <p>（削除）</p> <p>（2）出来形管理基準および規格値</p> <p>出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。厚さ管理は本要領の対象外とする。出来形の算出は、上記（1）で定める計測技術を用い下記 1）の計測要領による</p> <p>1） 3 次元計測技術を用いた出来形計測要領</p> <p>（3）出来形管理帳票</p> <p>現行の出来形管理帳票、出来高整理資料を作成する。また、出来形の 3 次元計測結果が計測（管理）すべき断面上あるいは測線上にあることを示す適用工種の 3 次元設計データあるいは平面図を提出することとする。</p> <p>⑤納品</p> <p>①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>2 I C T 法面工の実施にあたり、施工プロセス（①～⑤）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定する。</p> <p>なお、プロセスの選択は、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>（対象とする工事）</p> <p>第 3 条 I C T 法面工は、下記工種を含む発注工事を対象とする。</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 法面工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定																				
<div>表 1 I C T 法面工の対象工種種別</div> <table><tr><th>種別</th><th>細別</th></tr><tr><td>植生工</td><td>種子散布 張芝 筋芝 市松芝 植生シート 植生マット 植生筋 人工張芝 植生穴 植生基材吹付 客土吹付</td></tr><tr><td>吹付工</td><td>コンクリート吹付 モルタル吹付</td></tr><tr><td colspan="2">吹付法枠工</td></tr><tr><td colspan="2">(追加)</td></tr></table> <div>2 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</div> <div>(試行対象工事の調査)</div> <div>第 4 条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</div> <div>(発注)</div> <div>第 5 条 発注に当たっての積算基準は、従来の積算基準を用いるものとする。</div> <div>2 発注機関は、試行対象工事の発注に当たり、入札公告に I C T 法面工の対象とすることを明示</div>	種別	細別	植生工	種子散布 張芝 筋芝 市松芝 植生シート 植生マット 植生筋 人工張芝 植生穴 植生基材吹付 客土吹付	吹付工	コンクリート吹付 モルタル吹付	吹付法枠工		(追加)		<div>表 1 I C T 法面工の対象工種種別</div> <table><tr><th>種別</th><th>細別</th></tr><tr><td>植生工</td><td>種子散布 張芝 筋芝 市松芝 植生シート 植生マット 植生筋 人工張芝 植生穴 植生基材吹付 客土吹付</td></tr><tr><td>吹付工</td><td>コンクリート吹付 モルタル吹付</td></tr><tr><td colspan="2">吹付法枠工</td></tr><tr><td colspan="2">落石雪害防止工</td></tr></table> <div>2 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</div> <div>(試行対象工事の調査)</div> <div>第 4 条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</div> <div>(発注)</div> <div>第 5 条 発注に当たっての積算基準は、従来の積算基準を用いるものとする。</div> <div>2 発注機関は、試行対象工事の発注に当たり、入札公告に I C T 法面工の対象とすることを明示</div>	種別	細別	植生工	種子散布 張芝 筋芝 市松芝 植生シート 植生マット 植生筋 人工張芝 植生穴 植生基材吹付 客土吹付	吹付工	コンクリート吹付 モルタル吹付	吹付法枠工		落石雪害防止工	
種別	細別																				
植生工	種子散布 張芝 筋芝 市松芝 植生シート 植生マット 植生筋 人工張芝 植生穴 植生基材吹付 客土吹付																				
吹付工	コンクリート吹付 モルタル吹付																				
吹付法枠工																					
(追加)																					
種別	細別																				
植生工	種子散布 張芝 筋芝 市松芝 植生シート 植生マット 植生筋 人工張芝 植生穴 植生基材吹付 客土吹付																				
吹付工	コンクリート吹付 モルタル吹付																				
吹付法枠工																					
落石雪害防止工																					

土木部発注工事における I C T 活用工事（ I C T 法面工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定																				
するとともに、特記仕様書を添付し、発注手続きを行うこととする。	するとともに、特記仕様書を添付し、発注手続きを行うこととする。																				
<p>（ I C T 活用工事の実施手続）</p> <p>第 6 条 I C T 法面工の実施にあたっては、契約書に付された特記仕様書に基づき、受注者が希望した場合、受注者は協議書（ I C T 活用工事計画書）を発注者へ提出し、発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、 I C T 法面工を実施することができる。</p> <p>2 I C T 法面工として発注していない工事においても受注者から希望があった場合、発注者は施工量や工期、予算等を考慮の上、受注者希望型と同様の取り扱いとすることができる。</p>	<p>（ I C T 活用工事の実施手続）</p> <p>第 6 条 I C T 法面工の実施にあたっては、契約書に付された特記仕様書に基づき、受注者が希望した場合、受注者は協議書（ I C T 活用工事計画書）を発注者へ提出し、発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、 I C T 法面工を実施することができる。</p> <p>2 I C T 法面工として発注していない工事においても受注者から希望があった場合、発注者は施工量や工期、予算等を考慮の上、受注者希望型と同様の取り扱いとすることができる。</p>																				
<p>（設計変更）</p> <p>第 7 条 発注者は、 I C T 法面工の実施を指示した場合、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、 3 次元起工測量・ 3 次元設計データ作成および 3 次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p>	<p>（設計変更）</p> <p>第 7 条 発注者は、 I C T 法面工の実施を指示した場合、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、 3 次元起工測量・ 3 次元設計データ作成および 3 次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p>																				
<p>（工事成績）</p> <p>第 8 条 I C T 法面工を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で 1 点を加点するものとする。</p>	<p>（工事成績）</p> <p>第 8 条 I C T 法面工を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で 1 点を加点するものとする。</p>																				
<p>（追加）</p> <p>（追加）</p>																					
<p>（監督・検査）</p> <p>第 9 条 I C T 法面工を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表 2「I C T 法面工に関する基準」により行うものとする。</p>	<p>（アンケート調査）</p> <p>第 9 条 受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p>																				
<p>表 2—I C T 法面工に関する基準</p> <table><tr><td rowspan="2">施 工</td><td>1</td><td>3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）土工編</td></tr><tr><td>2</td><td>3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）法面工編</td></tr><tr><td rowspan="7">検 査</td><td>3</td><td>空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>4</td><td>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>5</td><td>T S（ノンプリ）を用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>6</td><td>T S 等光波方式を用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>7</td><td>R T K—G N S S を用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>8</td><td>無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>9</td><td>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr></table>	施 工	1	3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）土工編	2	3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）法面工編	検 査	3	空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）	4	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）	5	T S（ノンプリ）を用いた監督・検査要領（土工編）（案）	6	T S 等光波方式を用いた監督・検査要領（土工編）（案）	7	R T K—G N S S を用いた監督・検査要領（土工編）（案）	8	無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）	9	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）	<p>（削除）</p>
施 工		1	3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）土工編																		
	2	3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）法面工編																			
検 査	3	空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）																			
	4	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）																			
	5	T S（ノンプリ）を用いた監督・検査要領（土工編）（案）																			
	6	T S 等光波方式を用いた監督・検査要領（土工編）（案）																			
	7	R T K—G N S S を用いた監督・検査要領（土工編）（案）																			
	8	無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）																			
	9	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）																			

土木部発注工事における I C T 活用工事（ I C T 法面工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行				改 定			
		1 0	3次元計測技術を用いた出来形計測の監督・検査要領（案）				
			(追加)				※関連要領等（要領関係等（ICT の全面的な活用）国土交通省 HP より） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html
			(追加)				
附 則				附 則			
この要領は、令和元年 9 月 1 日から施行する。				この要領は、令和元年 9 月 1 日から施行する。			
令和 2 年 6 月 22 日改定（令和 2 年 7 月 1 日適用）				令和 2 年 6 月 22 日改定（令和 2 年 7 月 1 日適用）			
令和 3 年 6 月 28 日改定（令和 3 年 7 月 1 日適用）				令和 3 年 6 月 28 日改定（令和 3 年 7 月 1 日適用）			
令和 4 年 9 月 15 日改定（令和 4 年 10 月 1 日適用）				令和 4 年 9 月 15 日改定（令和 4 年 10 月 1 日適用）			
令和 5 年 9 月 26 日改定（令和 5 年 10 月 1 日適用）				令和 5 年 9 月 26 日改定（令和 5 年 10 月 1 日適用）			
				令和 7 年 9 月 30 日改定（令和 7 年 10 月 1 日適用）			

I C T 活用工事（I C T 法面工）に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>I C T 活用工事（I C T 法面工）に関する特記仕様書【受注者希望型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、受注者発議による提案・協議により、3次元データを活用する「I C T 活用工事（I C T 法面工）」（以下、「I C T 法面工」という）の対象とすることができる。</p> <p>第 1 I C T 活用工事の推進</p> <p>1－1 I C T 法面工とは、以下に示す施工プロセス（①～⑥）において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1）～3）の方法により 3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。なお、その際は監督職員と協議すること。</p> <p>1） 空中写真測量（無人航空機）による起工測量</p> <p>2）地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>3）その他の 3次元計測技術による</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための 3次元設計データを作成する。</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>対象外。</p> <p>④ 3次元出来形管理資料等の作成</p> <p>工事完成物について、I C T を活用して施工管理を実施する。なお、出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。厚さ管理は本要領の対象外とする。</p> <p>←</p>	<p>I C T 活用工事（I C T 法面工）に関する特記仕様書【受注者希望型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、受注者発議による提案・協議により、3次元データを活用する「I C T 活用工事（I C T 法面工）」（以下、「I C T 法面工」という）の対象とすることができる。</p> <p>第 1 I C T 活用工事の推進</p> <p>1－1 I C T 法面工とは、以下に示す施工プロセス（①～⑤）において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記 1）～7）の方法により 3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1）空中写真測量（無人航空機）による起工測量</p> <p>2）地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>3）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>4）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>5）T S 等光波方式を用いた起工測量</p> <p>6）T S（ノンプリズム方式）を用いた起工測量</p> <p>7）R T K－G N S Sを用いた起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための 3次元設計データを作成する。</p> <p>なお、発注者が貸与する 3次元データを活用する場合も I C T 活用工事とする。</p> <p>また、3次元設計データ作成は I C T 土工等と合わせて行うが、I C T 法面工の施工管理においては、3次元設計データ（TIN）形式での作成は必須としない。</p> <p>現地合わせによる施工を行う法枠工・植生工・吹付工においては、出来形計測時に用いる設計値は従来どおりとし、3次元設計データの作成は必須としない。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>対象外。</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>法面工の施工管理において、下記に示す方法により出来形管理を実施する。</p>

I C T活用工事（I C T法面工）に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>出来形管理➤</p> <p>下記１）～５）のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</p> <p>１）空中写真測量（無人航空機）による出来形管理技術</p> <p>２）地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術</p> <p>３）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理技術</p> <p>４）ＴＳ（ノンプリ）を用いた出来形管理技術</p> <p>５）その他の３次元計測技術による出来形管理技術</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>⑤出来形確認及び検査</p> <p>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、</p> <p>３次元</p> <p>（追加）</p> <p>設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</p> <p>④納品</p> <p>①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>１－２ 受注者はＩＣＴ法面工を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までにＩＣＴ活用工事計画書により、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ法面工を行うことができる。</p> <p>１－３ １－１施工プロセスに示す①～④について、測量や施工の実施手段及び対象範囲を監督員と協議するものとする。</p> <p>なお、受注者は施工プロセス（①～④）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定すること。プロセスの選択は、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>１－４ 施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達するものとする。</p>	<p>（１）出来形管理</p> <p>下記１）～５）の技術から選択（複数以上可）して、出来形計測を行うものとする。</p> <p>１）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理</p> <p>２）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>３）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理</p> <p>４）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理</p> <p>５）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理</p> <p>６）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>７）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>なお、計測装置位置と計測対象箇所との離隔・位置関係により１）～８）のＩＣＴを用いた計測においては、精度確保が困難となる箇所や繰り返し計測を行うことが必要となる箇所等も想定される。当該箇所においては、監督職員との協議の上、施工段階における出来形計測結果が判る写真・画像データ等と併用するなど、他の計測技術による出来形管理を行っても良いものとする。</p> <p>（２）出来形管理基準および規格値</p> <p>出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。厚さ管理は本要領の対象外とする。出来形の算出は、上記（１）で定める計測技術を用い下記１）の計測要領による</p> <p>１）３次元計測技術を用いた出来形計測要領</p> <p>（３）出来形管理帳票</p> <p>現行の出来形管理帳票、出来高整理資料を作成する。また、出来形の３次元計測結果が計測（管理）すべき断面上あるいは測線上にあることを示す適用工種の３次元設計データあるいは平面図を提出することとする。</p> <p>⑤納品</p> <p>①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>１－２ 受注者はＩＣＴ法面工を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までにＩＣＴ活用工事計画書により、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ法面工を行うことができる。</p> <p>１－３ １－１施工プロセスに示す①～⑤について、測量や施工の実施手段及び対象範囲を監督員と協議するものとする。</p> <p>なお、受注者は施工プロセス（①～⑤）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定すること。プロセスの選択は、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>１－４ 施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達するものとする。</p>

ICT活用工事（ICT法面工）に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定																						
<p>1－5 施工に必要な I C T法面工用のデータは、受注者が作成するものとする。</p> <p>1－6 I C T法面工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。</p> <p>1－7 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに 3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</p> <p>1－9 I C T法面工を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</p> <p>第2 監督・検査について</p> <p>I C T法面工を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表1「I C T法面工に関する基準」により行うものとする。</p> <table><caption>表1—I C T法面工に関する基準</caption><tr><td rowspan="2">施 工</td><td>1</td><td>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）土工編</td></tr><tr><td>2</td><td>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）法面工編</td></tr><tr><td rowspan="8">検 査</td><td>3</td><td>空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>4</td><td>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>5</td><td>T S（ノンプリ）を用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>6</td><td>T S等光波方式を用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>7</td><td>R T K—G N S Sを用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>8</td><td>無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>9</td><td>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）</td></tr><tr><td>10</td><td>3次元計測技術を用いた出来形計測の監督・検査要領（案）</td></tr></table> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>第3 納品について</p> <p>国土交通省が定めた「I C T法面工に関する基準」において、「I C O N」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「I C O N」フォルダに格納することとする。</p> <p>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</p>	施 工	1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）土工編	2	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）法面工編	検 査	3	空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）	4	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）	5	T S（ノンプリ）を用いた監督・検査要領（土工編）（案）	6	T S等光波方式を用いた監督・検査要領（土工編）（案）	7	R T K—G N S Sを用いた監督・検査要領（土工編）（案）	8	無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）	9	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）	10	3次元計測技術を用いた出来形計測の監督・検査要領（案）	<p>1－5 施工に必要な I C T法面工用のデータは、受注者が作成するものとする。</p> <p>1－6 I C T法面工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。</p> <p>1－7 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに 3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</p> <p>1－9 I C T法面工を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</p> <p>第2 監督・検査について</p> <p>I C T法面工を実施した場合の対象工種の監督・検査の関連要領等については、令和7年10月1日時点のものを適用するものとする。</p> <p>（削除）</p> <p>※関連要領等（要領関係等（I C Tの全面的な活用）国土交通省 HP より） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</p> <p>第3 納品について</p> <p>国土交通省が定めた基準において、「I C O N」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「I C O N」フォルダに格納することとする。</p> <p>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</p>
施 工		1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）土工編																				
	2	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）法面工編																					
検 査	3	空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）																					
	4	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）																					
	5	T S（ノンプリ）を用いた監督・検査要領（土工編）（案）																					
	6	T S等光波方式を用いた監督・検査要領（土工編）（案）																					
	7	R T K—G N S Sを用いた監督・検査要領（土工編）（案）																					
	8	無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）																					
	9	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた監督・検査要領（土工編）（案）																					
	10	3次元計測技術を用いた出来形計測の監督・検査要領（案）																					

I C T活用工事（I C T法面工）に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第4 アンケート調査について</p> <p>受注者は、I C T法面工を実施した場合、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p>	<p>第4 アンケート調査について</p> <p>受注者は、I C T法面工を実施した場合、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p>

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行				改 定																																																			
<div>平成〇年〇月〇日 工 事 名：〇〇〇〇〇〇工事 受注会社名：〇〇〇建設（株）</div> <div>I C T活用工事計画書</div> <p>当該工事において活用する技術について、「採用する技術番号」欄に該当建設生産プロセスの作業内容ごとに採用する技術番号を記載する。また、建設生産プロセスの各段階において、現場条件により I C Tによる施工が適当でない箇所を除く施工範囲の全てで活用する場合は、左端のチェック欄に「<input checked="" type="checkbox"/>」と記入する。</p> <table><thead><tr><th>建設生産プロセスの段階</th><th>作業内容</th><th>採用する 技術番号</th><th>技術番号・技術名</th></tr></thead><tbody><tr><td><input type="checkbox"/> ①3次元起工測量</td><td></td><td></td><td>1 空中写真測量（無人航空機）による起工測量 2 地上型レーザースキャナーによる起工測量 3 その他の3次元計測技術による起工測量</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> ②3次元設計用 データ作成</td><td></td><td></td><td>※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、I C T建設機械のみ用いる3次元設計データは含まない。</td></tr><tr><td rowspan="10"><input type="checkbox"/> ③I C T建設機械による 施工 ※当該工事に含まれる右 記作業の全てで活用する 場合に「<input checked="" type="checkbox"/>」と記入</td><td><input type="checkbox"/> 掘削工</td><td></td><td rowspan="10">1 3次元マシンコントロール（ブルドーザ）技術 2 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 3 3次元マシンガイダンス（ブルドーザ）技術 4 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 5 3次元マシンコントロール（モーターグレーダ）技術 6 3次元位置を用いた施工管理システム</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 盛土工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 路体盛土工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 路床盛土工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 法面整形工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 作業土工(床版)</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 路床安定処理工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 表層安定処理工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 固結工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 路盤工</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 切削・パヴィ工</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2"><input type="checkbox"/> ④3次元出来形管理資料 の作成 ⑤出来形確認及び検査 ※同上</td><td><input type="checkbox"/> 出来形</td><td></td><td>1 空中写真測量（無人航空機）による出来形管理技術 2 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3 その他の3次元計測技術による出来形管理技術</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 品質</td><td></td><td>T S ・ G N S Sによる範囲内回敷管理技術</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> ⑥納品</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>注1）I C T活用工事の詳細については、特記仕様書によるものとする。</p>						建設生産プロセスの段階	作業内容	採用する 技術番号	技術番号・技術名	<input type="checkbox"/> ①3次元起工測量			1 空中写真測量（無人航空機）による起工測量 2 地上型レーザースキャナーによる起工測量 3 その他の3次元計測技術による起工測量	<input type="checkbox"/> ②3次元設計用 データ作成			※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、I C T建設機械のみ用いる3次元設計データは含まない。	<input type="checkbox"/> ③I C T建設機械による 施工 ※当該工事に含まれる右 記作業の全てで活用する 場合に「 <input checked="" type="checkbox"/> 」と記入	<input type="checkbox"/> 掘削工		1 3次元マシンコントロール（ブルドーザ）技術 2 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 3 3次元マシンガイダンス（ブルドーザ）技術 4 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 5 3次元マシンコントロール（モーターグレーダ）技術 6 3次元位置を用いた施工管理システム	<input type="checkbox"/> 盛土工		<input type="checkbox"/> 路体盛土工		<input type="checkbox"/> 路床盛土工		<input type="checkbox"/> 法面整形工		<input type="checkbox"/> 作業土工(床版)		<input type="checkbox"/> 路床安定処理工		<input type="checkbox"/> 表層安定処理工		<input type="checkbox"/> 固結工		<input type="checkbox"/> 路盤工		<input type="checkbox"/> 切削・パヴィ工			<input type="checkbox"/> ④3次元出来形管理資料 の作成 ⑤出来形確認及び検査 ※同上	<input type="checkbox"/> 出来形		1 空中写真測量（無人航空機）による出来形管理技術 2 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3 その他の3次元計測技術による出来形管理技術	<input type="checkbox"/> 品質		T S ・ G N S Sによる範囲内回敷管理技術	<input type="checkbox"/> ⑥納品				<div>削除</div>	
建設生産プロセスの段階	作業内容	採用する 技術番号	技術番号・技術名																																																				
<input type="checkbox"/> ①3次元起工測量			1 空中写真測量（無人航空機）による起工測量 2 地上型レーザースキャナーによる起工測量 3 その他の3次元計測技術による起工測量																																																				
<input type="checkbox"/> ②3次元設計用 データ作成			※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、I C T建設機械のみ用いる3次元設計データは含まない。																																																				
<input type="checkbox"/> ③I C T建設機械による 施工 ※当該工事に含まれる右 記作業の全てで活用する 場合に「 <input checked="" type="checkbox"/> 」と記入	<input type="checkbox"/> 掘削工		1 3次元マシンコントロール（ブルドーザ）技術 2 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 3 3次元マシンガイダンス（ブルドーザ）技術 4 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 5 3次元マシンコントロール（モーターグレーダ）技術 6 3次元位置を用いた施工管理システム																																																				
	<input type="checkbox"/> 盛土工																																																						
	<input type="checkbox"/> 路体盛土工																																																						
	<input type="checkbox"/> 路床盛土工																																																						
	<input type="checkbox"/> 法面整形工																																																						
	<input type="checkbox"/> 作業土工(床版)																																																						
	<input type="checkbox"/> 路床安定処理工																																																						
	<input type="checkbox"/> 表層安定処理工																																																						
	<input type="checkbox"/> 固結工																																																						
	<input type="checkbox"/> 路盤工																																																						
<input type="checkbox"/> 切削・パヴィ工																																																							
<input type="checkbox"/> ④3次元出来形管理資料 の作成 ⑤出来形確認及び検査 ※同上	<input type="checkbox"/> 出来形		1 空中写真測量（無人航空機）による出来形管理技術 2 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3 その他の3次元計測技術による出来形管理技術																																																				
	<input type="checkbox"/> 品質		T S ・ G N S Sによる範囲内回敷管理技術																																																				
<input type="checkbox"/> ⑥納品																																																							

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																				
	<div data-bbox="1637 403 1760 424" style="text-align: right;">(令和7年10月～)</div> <div data-bbox="1341 432 1715 469" style="text-align: center;">ICT活用工事 協議書 一覧表</div> <div data-bbox="1366 477 1691 501" style="text-align: center;">各工種をクリックすると、該当するシートに繋がります</div> <table border="1" data-bbox="1305 526 1760 842"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>工 種</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>土工</td></tr> <tr> <td>2</td><td>舗装工</td></tr> <tr> <td>3</td><td>構築工(鉄筋)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>河川設備工</td></tr> <tr> <td>5</td><td>地盤改良工</td></tr> <tr> <td>6</td><td>法面工</td></tr> <tr> <td>7</td><td>構築物工</td></tr> <tr> <td>8</td><td>作業土工(床敷工)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>付帯構築物工</td></tr> </tbody> </table>	番号	工 種	1	土工	2	舗装工	3	構築工(鉄筋)	4	河川設備工	5	地盤改良工	6	法面工	7	構築物工	8	作業土工(床敷工)	9	付帯構築物工
番号	工 種																				
1	土工																				
2	舗装工																				
3	構築工(鉄筋)																				
4	河川設備工																				
5	地盤改良工																				
6	法面工																				
7	構築物工																				
8	作業土工(床敷工)																				
9	付帯構築物工																				

I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

ICT活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定										
	<div data-bbox="1238 426 1821 1254"> <div data-bbox="1413 448 1680 472">ICT活用工事 協議書(船装工)</div> <div data-bbox="1467 483 1626 501">(二 下等・OCCG工事)</div> <div data-bbox="1695 507 1821 518">(船内・OCCG工事)</div> <div data-bbox="1272 536 1821 584"> <p>当協定書は、以下に示す事項を規定し、適用する技術(船装工、船内・OCCG工事)の作業内容に適用する。また、本協定書は、以下に示す事項を規定し、適用する。また、本協定書は、以下に示す事項を規定し、適用する。</p> </div> <table border="1" data-bbox="1238 588 1821 1243"> <thead> <tr> <th data-bbox="1238 588 1395 612">項目</th><th data-bbox="1395 588 1821 612">適用する技術</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1238 619 1395 764">1. 船内・OCCG工事</td><td data-bbox="1395 619 1821 764"> <ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 </td></tr> <tr> <td data-bbox="1238 770 1395 823">2. 船内・OCCG工事</td><td data-bbox="1395 770 1821 823"> <ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 </td></tr> <tr> <td data-bbox="1238 828 1395 904">3. 船内・OCCG工事</td><td data-bbox="1395 828 1821 904"> <ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 </td></tr> <tr> <td data-bbox="1238 911 1395 1243">4. 船内・OCCG工事</td><td data-bbox="1395 911 1821 1243"> <ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 </td></tr> </tbody> </table> </div>	項目	適用する技術	1. 船内・OCCG工事	<ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 	2. 船内・OCCG工事	<ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 	3. 船内・OCCG工事	<ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 	4. 船内・OCCG工事	<ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲
項目	適用する技術										
1. 船内・OCCG工事	<ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 										
2. 船内・OCCG工事	<ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 										
3. 船内・OCCG工事	<ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 										
4. 船内・OCCG工事	<ul style="list-style-type: none"> 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 船内・OCCG工事の適用範囲 										

I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																		
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div>ICT活用工事 協議書(地盤改良工)</div> <div style="text-align: right;">(協定書)0000000000</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div>(二) 協定書(0000000000)</div> <div style="text-align: right;">(三) 協定書(0000000000)</div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 本協定書は、以下に記載する事項について、協議する関係者(以下「協議関係者」という)が、協議関係者としての作業内容に従って協議・協定することによって作成されたものである。 </p> <p style="font-size: small;"> 本協定書は、協議関係者間の協議に基づいて作成されたものである。協議関係者は、協議関係者としての作業内容に従って協議・協定することによって作成されたものである。 </p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%; text-align: center;">No.</th> <th style="width: 40%; text-align: center;">協議関係者</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">協議関係者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> <td style="vertical-align: top;"> 協議関係者 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;"> 本協定書は、協議関係者間の協議に基づいて作成されたものである。協議関係者は、協議関係者としての作業内容に従って協議・協定することによって作成されたものである。 </p>	No.	協議関係者	協議関係者	1	協議関係者	協議関係者	2	協議関係者	協議関係者	3	協議関係者	協議関係者	4	協議関係者	協議関係者	5	協議関係者	協議関係者
No.	協議関係者	協議関係者																	
1	協議関係者	協議関係者																	
2	協議関係者	協議関係者																	
3	協議関係者	協議関係者																	
4	協議関係者	協議関係者																	
5	協議関係者	協議関係者																	

I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

ICT活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																																								
<div>様式－1 ①</div> <div>(空中写真測量（無人航空機）)</div> <div>令和〇年〇月〇日</div> <div>工 事 名：〇〇〇〇〇〇工事</div> <div>受注会社名：〇〇〇建設（株）</div> <div>3次元設計データチェックシート</div> <table><tr><th>項目</th><th>対象</th><th>内容</th><th>チェック 結果</th></tr><tr><td rowspan="3">1) 基準点及び 工事基準点</td><td rowspan="3">全点</td><td>監督員の指示した基準点を使用しているか？</td><td></td></tr><tr><td>工事基準点の名称は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">2) 平面線形</td><td rowspan="4">全延長</td><td>起終点の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>変化点（線形主要点）の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>曲線要素の種別・数値は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>各測点の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">3) 縦断線形</td><td rowspan="3">全延長</td><td>線形起終点の測点、標高は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>縦断変化点の測点、標高は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>曲線要素は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">4) 出来形横断面 形状</td><td rowspan="2">全延長</td><td>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？</td><td></td></tr><tr><td>基準高、幅、法長は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>5) 3次元 設計データ</td><td>全延長</td><td>入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？</td><td></td></tr></table>	項目	対象	内容	チェック 結果	1) 基準点及び 工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか？		工事基準点の名称は正しいか？		座標は正しいか？		2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか？		変化点（線形主要点）の座標は正しいか？		曲線要素の種別・数値は正しいか？		各測点の座標は正しいか？		3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか？		縦断変化点の測点、標高は正しいか？		曲線要素は正しいか？		4) 出来形横断面 形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？		基準高、幅、法長は正しいか？		5) 3次元 設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？		<div>削除</div>
項目	対象	内容	チェック 結果																																						
1) 基準点及び 工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか？																																							
		工事基準点の名称は正しいか？																																							
		座標は正しいか？																																							
2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか？																																							
		変化点（線形主要点）の座標は正しいか？																																							
		曲線要素の種別・数値は正しいか？																																							
		各測点の座標は正しいか？																																							
3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか？																																							
		縦断変化点の測点、標高は正しいか？																																							
		曲線要素は正しいか？																																							
4) 出来形横断面 形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？																																							
		基準高、幅、法長は正しいか？																																							
5) 3次元 設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？																																							

ICT活用工事計画書 新旧対照表

現 行		改 定																																											
様式－1② (レーザースキャナー) <div>令和〇年〇月〇日 工 事 名：〇〇〇〇〇〇工事 受注会社名：〇〇〇建設（株）</div> 3次元設計データチェックシート <table><tr><th>項目</th><th>対象</th><th>内 容</th><th>チェック 結果</th></tr><tr><td rowspan="3">1) 基準点及び 工事基準点</td><td rowspan="3">全点</td><td>監督員の指示した基準点を使用しているか？</td><td></td></tr><tr><td>工事基準点の名称は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">2) 平面線形</td><td rowspan="4">全延長</td><td>起終点の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>変化点（線形主要点）の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>曲線要素の種別・数値は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>各測点の座標は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">3) 縦断線形</td><td rowspan="3">全延長</td><td>線形起終点の測点、標高は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>縦断変化点の測点、標高は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>曲線要素は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">4) 出来形横断面 形状</td><td rowspan="3">全延長</td><td>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？</td><td></td></tr><tr><td>基準高、幅、法長は正しいか？</td><td></td></tr><tr><td>出来形計測対象点の記号が正しく付与できて いるか？</td><td></td></tr><tr><td>5) 3次元 設計データ</td><td>全延長</td><td>入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？</td><td></td></tr></table>		項目	対象	内 容	チェック 結果	1) 基準点及び 工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか？		工事基準点の名称は正しいか？		座標は正しいか？		2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか？		変化点（線形主要点）の座標は正しいか？		曲線要素の種別・数値は正しいか？		各測点の座標は正しいか？		3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか？		縦断変化点の測点、標高は正しいか？		曲線要素は正しいか？		4) 出来形横断面 形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？		基準高、幅、法長は正しいか？		出来形計測対象点の記号が正しく付与できて いるか？		5) 3次元 設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？		<div>削除</div>	
項目	対象	内 容	チェック 結果																																										
1) 基準点及び 工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか？																																											
		工事基準点の名称は正しいか？																																											
		座標は正しいか？																																											
2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか？																																											
		変化点（線形主要点）の座標は正しいか？																																											
		曲線要素の種別・数値は正しいか？																																											
		各測点の座標は正しいか？																																											
3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか？																																											
		縦断変化点の測点、標高は正しいか？																																											
		曲線要素は正しいか？																																											
4) 出来形横断面 形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切 か？																																											
		基準高、幅、法長は正しいか？																																											
		出来形計測対象点の記号が正しく付与できて いるか？																																											
5) 3次元 設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する 3次元設計データは同一となっているか？																																											

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定
	<p>参考資料</p> <p>設計データチェックシート</p> <p> 参考資料 1 3次元設計データチェックシート (Type A) 1 参考資料 2 3次元設計データチェックシート (Type-B) 2 参考資料 3 3次元設計データチェックシート (Type-C) 3 参考資料 4 3次元設計データチェックシート (Type-D) 4 参考資料 5 3次元設計データチェックシート (Type-E) 5 参考資料 6 3次元設計データチェックシート (Type-F) 6 参考資料 7 基本設計データチェックシート (Type-A) 7 参考資料 8 基本設計データチェックシート (Type-B) 8 参考資料 9 建築改良設計データチェックシート (Type-A) 9 参考資料 10 建築改良設計データチェックシート (Type-B) 10 参考資料 11 内装工設計データチェックシート 11 参考資料 12 ジョイント設計データチェックシート 12 </p>

I C T活用工事計画書 新旧対照表

[illegible]

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-1 3次元設計データチェックシート〔Type-A〕

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名:

受 注 者 名:

作 成 者:

57

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
1) 所準と及び工事基準	全案	<ul style="list-style-type: none"> ・式安欄(1)の指定した基準を引用しているか？ ・工事基準の名称は正しいか？ ・定数は正しいか？ ・数値の単位は正しいか？ 	
2) 平面図形	全延長	<ul style="list-style-type: none"> ・変位点(橋脚位置)が四角形に正しいか？ ・道路幅員の定数・数値は正しいか？ ・各測定の距離は正しいか？ 	
3) 縦断図形	全延長	<ul style="list-style-type: none"> ・路線(道路)の起点、終点は正しいか？ ・箇所変位点の起点、終点は正しいか？ ・断面変位点は正しいか？ 	
4) 出土形断面図	全延長	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した山形断面図の起点、終点は正しいか？ ・尺単位、四、五、六は正しいか？ 	
5) 3次元設計データ	全延長	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～4)の図面形式と出力する3次元設計データは同一となっているか？ 	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記すこと。

※2 該当項のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“－”を記すこと。

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料 2 3次元設計データチェックシート (Type B)

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名:

受 注 者 名:

作 成 者 名:

印

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック 結果
1) 所収内容及び 工事完成品	全図	<ul style="list-style-type: none"> ・重要図面の指示した基準を使用しているか? ・工事完成品の内容は正しいか? ・単位に正しいか? 	
2) 平面図形	全図面	<ul style="list-style-type: none"> ・配筋図 (鉄筋位置) の確認正しいか? ・自前設置の確保・設備に正しいか? ・基礎部の形状は正しいか? 	
3) 縦断図形	全図面	<ul style="list-style-type: none"> ・縦断図は正しいか? 標高は正しいか? ・自前設置は正しいか? 	
4) 土木関係設備 図形	全図面	<ul style="list-style-type: none"> ・与えた建築図面や関係の図面、図は正しいか? ・他、決まっているか? 	
5) 3次元設計 データ	全図面	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～4)の内容と一致しているか? 	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”と記すこと。

※2 該当項目のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“/”と記すこと。

2

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料 3 3次元設計データチェックシート [Type G]

〔様式〕

令和〇〇年〇〇月〇〇日

上 学 名: _____
学 校 名: _____
作 成 者: _____ 印

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	データ 品質
1) 断面図及び 平面図等	全図	<ul style="list-style-type: none">・断面図等の描画した基準点を検出しているか?・工事現場等の実測値と一致しているか?・図面に正しいか?	
2) 平面図等	全図	<ul style="list-style-type: none">・点群データの検出は正しいか?・変位点 (変位点) の検出は正しいか?・変位点の検出・検出は正しいか?・変位点の検出は正しいか?	
3) 断面図等	全図	<ul style="list-style-type: none">・断面図等の検出・検出は正しいか?・断面図等の検出・検出は正しいか?・断面図等の検出は正しいか?	
4) 断面図等の 図面	全図	<ul style="list-style-type: none">・断面図等の検出・検出は正しいか?・断面図等の検出・検出は正しいか?	
5) 3次元設計 データ	全図	<ul style="list-style-type: none">・入力した2次元図の検出・検出は正しいか?・入力した2次元図の検出・検出は正しいか?	

※1 各チェック項目について、チェック結果は「○」と記すこと。
※2 図面等のデータ入力の際に、チェック結果欄に「○」と記すこと。

3

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-4 3次元設計データチェックシート [Type-0]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名： _____
 受 注 者 名： _____
 作 成 者： _____ 57

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック 結果
1) 基礎工及び 工事現場	点検	・設計図面の指示した基準法を従っているか？ ・工事現場者の基準法に正しいか？ ・内容正しいか？	
2) 3次元設計 データ	点検	・入力した設計情報と伝力するデータの設計データは 同一となっているか？	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記すこと。
 ※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“－”を記すこと。

4

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-5 3次元設計データチェックシート [Type-C]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

上 査 者： _____
受 注 者 名： _____
作 成 者： _____ 印

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック 結果
1) 基準点及び 上り位置関係	重点	<ul style="list-style-type: none"> ・既設位置が指定した断面図を反映しているか？ ・工区断面図の名称に正しいか？ ・直線は正しいか？ ・曲線部の半径は正しいか？ 	
9) 断面図	全線長	<ul style="list-style-type: none"> ・変位量（軌形断面図）の対応は正しいか？ ・重積断面の経緯・駅値は正しいか？ ・各断面の選定は正しいか？ 	
8) 断面図	全線長	<ul style="list-style-type: none"> ・橋脚位置（0）断面、断面は正しいか？ ・使用断面の断面、断面は正しいか？ ・断面位置は正しいか？ 	
4) 断面図断面 形状	全線長	<ul style="list-style-type: none"> ・指定した断面断面（0）断面の断面、断面は正しいか？ ・断面位置、幅、深さは正しいか？ 	
6) 3次元設計 データ	全線長	<ul style="list-style-type: none"> ・入力したシート～1)の断面断面図に力する3次元設計データは同一となっているか？ 	

※1 各チェックが完了して、チェック結果は“○”と記すこと。
※2 該当のデータのデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“－”と記すこと。

5

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-6 3次元設計データチェックシート〔Type-F〕

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名:

受 注 者 名:

作 成 者 名:

印

3次元設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
1) 基礎計画及び工事関係点	全点	<ul style="list-style-type: none"> ・監督制度の導入した活動が全箇所に行っているか? ・工事関係点の名称は正しいか? ・位置は正しいか? 	
2) 平面図形	全図長	<ul style="list-style-type: none"> ・集約点の座標は正しいか? ・変位値（座標・変位）の単位は正しいか? ・変位変位の正負・変位にUnitは入る? ・各測点の座標は正しいか? 	
3) 断面図形	全図長	<ul style="list-style-type: none"> ・断面図終点の座標、変位は正しいか? ・断面変位の正負・変位は正しいか? 	
4) 月次形変位データ	全図長	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した月次形変位データの欄名、数値は正しいか? ・単位、値、数値は正しいか? ・振替方向を示す起終点の相違は正しいか? 	
5) 日誌関係	全点	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が正しいか? 	
6) 3次元設計データ	全図長	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～5)の入力結果が断面形変位データ関係の3次元設計データとなっているか? (T→坐標との位置関係は正しいか?) 	

※1) チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記すこと。

※2) 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“-”を記すこと。

8

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料 7 基本設計データチェックシート [Type-A]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

上 委 名 :

受 注 者 名 :

作 成 者 名 :

57

基本設計データチェックシート

項目	主 要 点	内 容	チェック結果
1) 基礎位置及び 工事実施範囲	全点	・ 基礎位置の指定した基準点を使用しているか？ ・ 工事実施範囲の指定は正しいか？ ・ 座標に正しいか？ ・ 道路幅員の幅員に正しいか？	
2) 平面図	全点	・ 変位角（橋脚・蓋板）の指定は正しいか？ ・ 橋脚位置の指定・変位に正しいか？ ・ 全断面の指定は正しいか？	
3) 縦断面図	全点	・ 縦断面図の指定、指定は正しいか？ ・ 縦断面図の指定、指定は正しいか？ ・ 縦断面図の指定は正しいか？	
4) 断面図	全点	・ 断面図の指定、指定は正しいか？ ・ 断面図の指定、指定は正しいか？ ・ 断面図の指定は正しいか？	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”と記すこと。
※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“○”と記すこと。

7

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-8 基本設計データチェックシート [Type-B]

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日
工 事 名： _____
受 注 者 名： _____
作 成 者： _____ 印 _____

基本設計データチェックシート

項 目	対象	内 容	チェック 結果
1) 図書及び 工事契約書	全点	・図面内容の求めた図書が利用しているか？ ・工事契約書の内容が正しいか？ ・定価は正しいか？	
2) 平面図形	全図面	・地籍図の面積が正しいか？ ・変換図（測量実測図）の面積は正しいか？ ・測量実測図の縮尺・数値は正しいか？ ・新築図の面積は正しいか？ ・既存建物図の縮尺、面積は正しいか？	
3) 縦断図形	全延長	・縦断変換図の縮尺、面積は正しいか？ ・断面変換図は正しいか？	
4) 断面形 断面変換図	全図面	・作成した断面形横断図形状の調査、数値は正しいか？ ・縮・断面図は正しいか？ ・断面形断面図の縮尺が正しく計算できているか？	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記入した。

※2 該当項目のデータが正しい場合は、チェック結果欄に“○”を記入した。

8

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-9 地盤改良設計データチェックシート〔Type-A〕

(様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名: _____

受 注 者 名: _____

作 成 者: _____ 印

地盤改良設計データチェックシート

項目	対象	内容	チェック結果
1) 平面図	全点	・地盤改良工事範囲は正しいか？ ・区画図・等価ブロックの図付けは正しいか？ ・管渠ブロックの種・奥行き・高さは正しいか？	
2) 断面図	全点	・全ての区画間の間隔（H）又は間数（n）に間違いがあるか？	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記入する。

※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“△”を記入する。

9

I C T活用工事計画書 新旧対照表

現 行

改 定

参考資料-10 地盤改良設計データチェックシート〔Type-B〕

（様式）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

工 事 名： _____

受 注 者 名： _____

作 成 者： _____ 印 _____

地盤改良設計データチェックシート

項目	内容	チェック 結果
1) 計画図	・改良位置（x座標、y座標）（掘削位置が多数の場合は複数）は正しいか？	
2) 断面図	・改良体断面の位置で掘削位置からの計画断面・改良体断面との高低差は計画値に正しいか？ ・掘削位置の標高は正しいか？	
3) 計算書	・設計データに入力した掘削位置、設計掘削深と合致しているか？（0.4m ² の場合） ・設計データに入力した掘削位置、設計掘削深と合致しているか？（セグドコンパクション法の場合）	

※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“○”を記入すること。

※2 該当項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“－”を記入すること。

29

